



Elegant Illumination: Art Deco Lights

特別企画展

アール・デコ 光のエレガンス
2012.10.6 SAT - 12.24 MON

休館日 | 月曜日、10月9日(火)(10月8日(月・祝)は開館)

開館時間 | 午前9時30分 - 午後4時30分(入館は午後4時まで)

※10月6日(土)のみ、一般観覧は午前11時から

観覧料 | 一般900円(720円) 高校・大学生700円(560円) 中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金 ※身体等に障がいのある方および付添者には割引制度があります。手帳を受付にてご提示ください。

主催 | 愛知県陶磁資料館、中日新聞社

後援 | フランス大使館、ドイツ連邦共和国総領事館、

愛知県教育委員会、愛知高速交通株式会社

協力 | トヨタ博物館、ヤマザキマザック美術館

愛知県陶磁資料館

〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234番地
TEL | 0561-84-7474 FAX | 0561-84-4932
<http://www.pref.aichi.jp/touji>



アール・デコとは、1925年にフランス・パリで開催された「現代装飾美術産業美術国際博覧会（通称「アール・デコ博覧会」）に由来する、1910年代-1930年代の装飾美術様式です。それは、電気、鉄道、自動車などが都市の風景を変貌させた時代の美意識を体現する、新しいデザイン様式でした。

本展では、特に電気照明器具に焦点を当てながら、さまざまな素材を用いたシックでモダンなアール・デコの世界を紹介します。ジャン・デュナン
の漆芸パネル、国立セーヴル製陶所やドイツ・ローゼンタール社製の高級磁器製品、金工家プラント&ガラス工房ドーム社による金属とガラス
を用いたランプ、ラリックのガラス作品で構成するテーブル・セッティングなど、デザイン性豊かな約110作品により、硬質で眩しい電気照明の光景
を優れた芸術感覚によって生活の中に取り入れた、アール・デコの光のエレガンスをご堪能ください。



関連イベント

記念講演会「アール・デコ、あるいはマチエールの誘惑」

池田まゆみ氏（美術工芸史家、本展監修者）

10月20日（土）午後1時30分～3時 本館地下講堂 ※参加無料、申込不要、当日先着順

学芸員による展示解説

10月7日（日）・21日（日）・28日（日）、11月4日（日）・18日（日）、12月2日（日）・16日（日）・23日（日）・24日（月・祝） いずれも午後1時30分～（約1時間）

※申込不要。企画展観覧券をご用意の上、開始時刻に第1展示室前へお集まりください。

Free Hills Jazz Orchestraによるジャズ・ライブ

11月11日（日） 第1部：午前11時～ 第2部：午後2時～（いずれも約1時間）

名古屋市内の有志中学生・高校生による実力派ビッグ・バンドが、「A列車で行こう」、「Sing! Sing! Sing!」など1930年代スウィング・ジャズの名曲を中心に演奏します。

本館中庭 ※雨天の場合は、本館内に変更いたします。参加無料、事前申込不要。

映画「グランド・ホテル」（1932年、アメリカ）上映 ©IVC

1. アルバール・シュレ テーブル・ランプ 1920・1930年 ファーワード
2. アマルリック・ワルター 花文パフューム・ランプ [原型:マルセル・コレット] 1920・1935年 財団法人 北澤美術館
3. ルネ・ラリック 花瓶(オラン) 1927年 東京都庭園美術館
4. ローゼンタール 山羊付置時計 [原型:ゲルハルト・シュリッパシュタイン] 1924年 岐阜県現代陶芸美術館
5. ジャン・デュナン 球形花瓶(緑、黒) 1925年 東京国立近代美術館
6. 国立セーヴル製陶所 天井灯 [造形:アンリ・ラビ、装飾デザイン:ジャン・バティスト・ゴヴネ] 1927年 東京都庭園美術館

本展に関連する作品を所蔵する美術館（五十首順）

トヨタ博物館 〒480-1118 愛知県長久手市横道41番地100 TEL:0561-63-5151（代）

ガソリン自動車の歴史を実車展示。ルネ・ラリックのガラス製カーマスコット全29種類を常設展示しています。

ヤマザキマザック美術館 〒461-0004 愛知県名古屋市中区葵1-19-30 TEL:052-937-3737（代）

デコルシェモンの花器、プラント&ドームの照明器具などを常設展示しています。

瀬戸市内の展覧会 問合せ先:瀬戸市美術館 TEL:0561-84-1093

瀬戸市美術館 企画展「三宅紀保 陶芸展」10月20日（土）～2013年1月13日（日）

瀬戸蔵ミュージアム 埋蔵文化財センター企画展「瀬戸の成立とその展開」11月3日（土）～2013年1月14日（月・祝）

瀬戸市新世紀工芸館 企画展「梅本孝征 與話小津恵」10月20日（土）～2013年1月27日（日）

マルチメディア伝承工芸館 企画展「瀬戸染付—小物名品展」9月26日（水）～12月27日（木）

観覧料：一般900円（720円） 高校・大学生700円（560円）

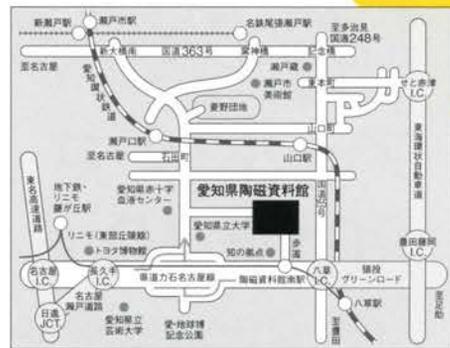
※（ ）内は20名以上の団体料金 ※中学生以下無料 ※上記料金で常設展示もご覧いただけます。 ※身体等に障がいのある方および付添者には割引制度があります。手帳を受付にてご呈示ください。 ※以下のご展示で団体料金を適用いたします。リニモ「藤が丘」「愛・地球博記念公園」「陶磁資料館南」「八草」各駅に設置の割引チラシ/リニモ「一日乗車券」/名古屋市交通局「一日乗車券」および「ドニエコさっぷ」/モリコロパーク駐車場再入場券/名都美術館観覧券の半券/ヤマザキマザック美術館常設展観覧券の半券または同館友の会カード（本展会期中のみ有効、1枚につき1回限り有効）/各種割引の併用はできません。 ※チラシ等付属の割引引換券1枚につき100円引となります。 ※本展チケットをヤマザキマザック美術館のチケット売場でご呈示いただくと、同館常設展示の当日料金が団体料金（200円引）になります。（本展会期中のみ有効、1枚につき1回限り有効 他割引との併用はできません）

公共交通機関

●中部国際空港セントレアより、名鉄空港バス「藤が丘」行き終点「藤が丘」下車（約55分）。リニモ「藤が丘」から「八草」行き「陶磁資料館南」下車（約15分）、徒歩600m（約10分）。あるいは東山線「藤が丘」からタクシー（約20分）●JR名古屋駅より、地下鉄東山線「名古屋」から終点「藤が丘」下車（約25分）、リニモ「藤が丘」から「八草」行き「陶磁資料館南」下車（約15分）、徒歩600m（約10分）。あるいは東山線「藤が丘」からタクシー（約20分）●名鉄瀬戸線「栄町」より、終点「尾張瀬戸」下車（約40分）、「瀬戸駅前」のりば1から名鉄バス「菱野団地」経由「愛・地球博記念公園」行き「陶磁資料館」下車（約20分、土・日・休日のみ）。あるいは「瀬戸駅前」からタクシー（約15分）。

自家用車

●東名高速道路「日進JCT」経由、名古屋瀬戸道路「長久手IC」から瀬戸方面に約5km●東名高速道路・名二環道「名古屋IC」から瀬戸・豊田・足助方面に約10km●東海環状自動車道「せと赤津IC」から長久手方面に約7km



愛知県陶磁資料館
Aichi Prefectural Ceramic Museum

〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234番地
TEL: 0561-84-7474 FAX: 0561-84-4932 <http://www.pref.aichi.jp/touji>
リニモ沿線情報「リニモとびっくす」<http://www.facebook.com/liniloco>

次回展覧会（予定）

陶家の蒐集と制作I 清水六兵衛家 一京の華やぎ—
2013年1月12日（土）-3月24日（日）

毎月第3日曜日は、愛知県陶磁資料館《陶芸ふれあい体験日》

ふれあい陶芸教室（陶芸館、要予約）、愛知県立芸術大学学生によるコンサート（本館1階、参加無料）など、1日中お楽しみいただけます。詳細は<http://www.pref.aichi.jp/touji/>をご覧ください。

常設展

本館2階 「世界やきものの旅」「土と炎の芸術」「全国古窯陶磁資料展」
本館地下1階 「現代の陶芸」 西館「陶磁のこま犬百面相」
南館 「やきもの何だーランド」「あい子ども考古学研究室」